

管理栄養士の地域連携における役割とネットワークづくり

(第二報)

The role of the registered dietician in collaboration in Mimasaka area, and networking between registered dieticians (II)

多田賢代*1・保田芳枝*2・藤井わか子*3

Takayo Tada, Yoshie Yasuda and Wakako Fujii

1. 研究の目的

平成 20 年度に「はばたけ栄養士の会」を立ち上げ、取り組みを開始した。初年度の成果を評価するために、美作地域の栄養士・管理栄養士を対象としてアンケート調査を実施した。その結果、美作地域において栄養士・管理栄養士の地域連係が求められており、相互の情報交換が必要であり、ネットワークづくりのニーズが非常に強まっていることが再認識された。

こうしたニーズに応えるために、県北唯一の管理栄養士課程をもつ本大学が起動力となり、美作地域の栄養士・管理栄養士が地域住民の健康づくり推進において地域連携を推し進め、栄養士・管理栄養士相互のネットワークづくりに貢献することが重要と考えられる。そこで、平成 21 年度も 2 年継続して本研究課題に取り組むこととした。

2. 研究の方法

卒業生を含む美作地域の栄養士・管理栄養士を募り、以下の活動を行う。

- ①特定保健指導に関する講演会や自主勉強会の開催
- ②在宅介護に関する講演会や自主勉強会の開催
- ③在宅訪問栄養指導など在宅医療に関する講演会や自主勉強会の開催
- ④地域型 N S T についての講演会や自主勉強会の開催
- ⑤地域連携による健康づくり推進についての現状調査および情報交換
- ⑥地域連携による健康づくり推進における活動報告会の開催

①～④では、県内外からその分野の有識者を講師として招いて講演会を行い、⑤～⑥では、卒業生の含む美作地域の栄養士・管理栄養士自らが取り組めるよう意識の啓発を行う。

また、管理栄養士養成を行っている本学が中核となり、地域の栄養士・管理栄養士のネットワークづくりをさらに推進していくため、本研究 2 年目は日帰り視察見学会を実施し、栄養士・管理栄養士のレベルアップと地域連携の継続に繋げたい。

*1 美作大学生生活科学部 食物学科 准教授・博士(学術) Assoc. Prof., Dept. of Food Sciences, Mimasaka Univ., Ph., D.

*2 美作大学生生活科学部 食物学科 准教授 Assoc. Prof., Dept. of Food Sciences, Mimasaka Univ.

*3 美作大学短期大学部 栄養学科 教授・博士(医学) Prof., Dept. of Nutrition Sciences, MIMasaka Junior College, M.Ph.D.

3. 研究の内容

4. 1 講演会・勉強会および情報交換会・活動報告会の開催

美作地域の栄養士・管理栄養士を対象として、講演会4回、本学教員からの情報提供による勉強会2回、視察見学会1回、情報交換会・活動報告会1回の計8回を開催した。開催日程、開催テーマおよび参加者人数を次項の表に示す。

4. 2 美作地域の栄養士・管理栄養士に対するアンケート調査の実施

美作地域の栄養士・管理栄養士を対象として、アンケート調査用紙を郵送し、回答を返信してもらい、68人の回答が得られた。

アンケート調査の結果、「日ごろ業務の中で地域連携の重要性を感じている」との回答が68人中60人(88.0%)あり(図1)、昨年度と同様な結果であった。「地域連携において栄養士・管理栄養士の果たす役割は大きく、積極的に取り組もうと思う」との回答は2008年度47.8%、2009年度55.6%あり、「果たす役割は大きい、役割を果たすことは困難だと思う」との回答は2008年度34.3%、2009年度18.5%であったが、「果たす役割はそれほど大きなものではないと思う」との回答は2008年度、2009年度ともに無かった(図2)。このことから、地域連携における栄養士・管理栄養士の果たす役割についての認識は高まっており、資質の向上や情報交換のための場が今後さらに必要となることが窺われた。このことを反映するように、本勉強会でとりあげて欲しいと希望する内容として、「多職種との連携」が「専門的な知識」に次いで多くあげられていた(図3)。

4. 今後の課題

「日本人の食事摂取基準2010年版」は、各ライフステージにおける健康の維持増進、生活習慣病予防を目的として策定され、平成22年度はその適用開始年度である。栄養士・管理栄養士が勤める職域は、幼稚園・保育所、学校給食、高等学校、会社の給食施設、外食産業、福祉施設、病院と広く跨っており、子どもから高齢者まで各ライフステージと関わっている。したがって、地域の健康づくり推進のためには、「日本人の食事摂取基準2010年版」を十

分理解し、栄養士・管理栄養士同士が職域を跨いで連携をしっかりとりながら、食事摂取基準を活用していくことが重要である。そこで、平成22年度は「日本人の食事摂取基準2010年版」をメインテーマにおき、講演会や自主勉強会を開催する予定にしている。また、情報交換会や活動報告会、視察見学会を継続して開催し、美作地域の健康づくり推進のために栄養士・管理栄養士同士のネットワークづくりにおいて一助となるよう貢献していきたい。

謝辞

今回の講演会におきましては、多くの先生方のご指導のもと、開催することができました。また、栄養士会津山支部、真庭支部、勝英支部のご協力をいただき、多くの栄養士・管理栄養士の皆様からアンケート調査にご回答いただきました。本研究を進めるにあたり、ご指導、ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

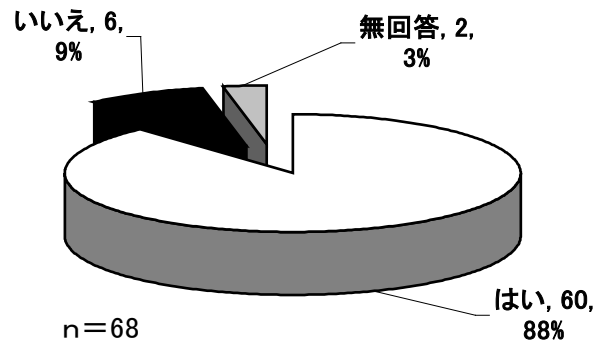


図1 地域連携の重要性に対する認識

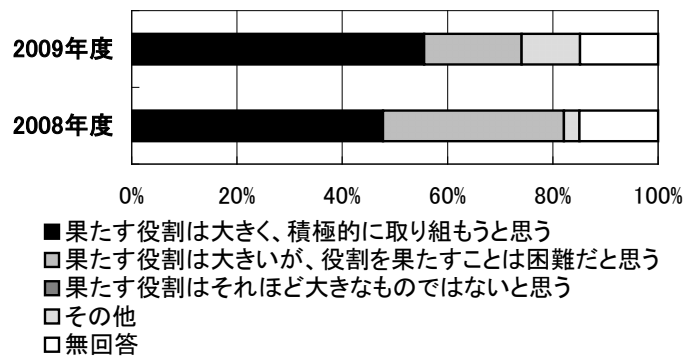


図2 地域連携における役割に対する認識

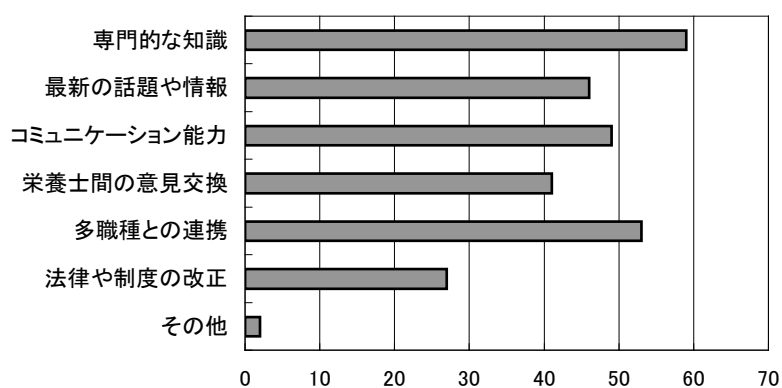


図3 希望する勉強会の内容 (人)

2009年度 美作地域栄養士勉強会の内容と参加者人数

年月日 (曜日)	テーマ	講師	参加人数 (人)
平成 21 年 9 月 9 日 (水)	「各学会ガイドラインについて (学会報告を交えて)」	美作大学 本会 世話人	10
10 月 14 日 (水)	「地域連携において管理栄養士 に期待すること」	金田病院 外科部長 三村 卓司 先生	23
10 月 24 日 (土)	視察旅行 (日帰り見学会)	見学先：日清医療食品(株) ヘルスケアフードサービス センター米子	21
11 月 11 日 (水)	「栄養指導に役立つ心理学の 基本」	美作大学 児童学科 妻藤 真彦 先生	14
12 月 09 日 (水)	「咀嚼・嚥下食と物性について」	美作大学 本会 世話人 美作市立作東老人保健施設 谷口 啓子 先生	16
平成 22 年 1 月 20 日 (水)	「栄養サポートと地域連携」	近森病院 栄養科長 真壁 昇 先生	17
2 月 17 日 (水)	「ミネラルと食事摂取基準」	美作大学 本会 世話人	10
3 月 13 日 (土)	「この頃食卓で思うこと ー食文化の観点からー」 情報交換会	美作大学 食物学科 和田 治子 先生 参加者全員	17+30 (学生を 含む)
(合計)			158